

大会規定

1. 競技規則 競技規則は、公益財団法人日本サッカー協会発行の「サッカー競技規則2019/2018」による。
2. 競技形式
 - (1) 1次ラウンドは、高円宮杯JFA U-15サッカーリーグ2019北信越出場チーム(2チーム)を除いた全チーム(32チーム)を、A~Gの7グループに分けて総当たり戦を行い、各グループ1位~2位の14チームと各グループ3位の内の最上位1チーム、合計15チームが2次ラウンド(総当たり戦)へ進出する。
 - (2) 2次ラウンドは、a~cまでの3グループに分けて総当たり戦を行い、各グループ1位と2位の合計6チームが決勝トーナメント(勝ち抜き戦)へ進出する。
 - (3) 高円宮杯JFA U-15サッカーリーグ2019北信越出場チーム(2チーム)は決勝トーナメントより出場する。
 - (4) 1次ラウンド及び2次ラウンドの各グループの順位決定は以下のとおりとする。
 - ① 勝点は、勝ち=3点 引分け=1点 負け=0点とし勝点の多い方を上位とする。
 - ② 勝点と同じ場合は得失点差の多いチームを上位とする。
 - ③ 得失点差が同じ場合は総得点の多いチームを上位とする。
 - ④ ③で得点も同じ場合はグループ1位チームに対する対戦結果にて決定する。なお、引分けの場合は抽選により決定する。
 - (5) 組合せは、高円宮杯JFA U-15サッカーリーグ2019北信越、2018年度の第24回長野県クラブユースサッカー選手権大会(U-14)の順位により決定する。
 - (6) 試合時間
 - ① 1次ラウンド(総当たり戦) 60分(30-7-30)
 - ② 2次ラウンド(総当たり戦) 60分(30-7-30)
 - ③ 決勝トーナメント(勝ち抜き戦) 80分(40-10-40)
 - ④ 総当たり戦において競技時間内に勝敗の決まらない場合は引分けとする。
 - ⑤ 勝ち抜き戦において競技時間内に勝敗が決まらない場合はPK戦方式(ABAB)にて勝敗を決定する。但し、準決勝、3位決定戦、決勝戦においては5分間休憩後に10分の延長戦を行い、それでも勝敗が決定しない場合はPK戦方式(ABAB)により勝敗を決定する。
3. 警告・退場
 - (1) 今大会中に警告の累積が2回になった選手は次の1試合に出場できない。但し、決勝トーナメントに進出したチームの選手は、1次ラウンドからの警告の累積が3回で次の1試合に出場できない。
 - (2) 退場を命じられた選手は、会場のグラウンドの外に出ること。この場合のグラウンドとは、防球ネットに囲われた部分とする。また、退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。それ以降の処置については大会規律委員会にて決定する。
3. 役員及び選手の登録 役員7人以内、選手30人以内とする。但し、ベンチの人数は試合毎に役員5人以内、選手20人以内とし、事前に登録していない者はベンチに入れない。試合に参加できる選手は20人以内とする。
4. 代表者ミーティング
 - (1) 1次ラウンド・2次ラウンド 代表者ミーティングは行わない。

大会要項及び本規定並びに運営要綱を熟読しておくこと。但し、メンバー表(2部)、選手証、エントリー変更・追加用紙の提出については、第1試合においては競技開始45分前に、第2試合以降は前の試合のハーフタイムに会場本部に行うこと。また、ユニフォームの色は、当該チーム同士で事前に相談し、支障のない組み合わせを決めておくこと。但し、最終的な判断は主審が行う。
 - (2) 決勝トーナメント 競技開始の70分前から行う。

参加者については両チームの代表者、審判団、大会本部により行う。両チームの代表者はメンバー表4部、選手証、エントリー変更・追加用紙、ユニフォーム(FP正副、GK正副)、ピブスを持参

して参加する。

5. ユニフォーム
- (1) ユニフォームについては本大会に申請したものを着用すること。
 - (2) ユニフォーム（シャツ、パンツ、ソックス）は、F P、G K共に正の他に副として正と異なる色のユニフォームを必ず携行すること。
 - (3) シャツの色彩は、審判が通常着用する黒色と明確に判別出来るものでなければならない。
 - (4) アンダーシャツ及びアンダーショーツ並びにタイツについては、以下の通りとする。
 - ① アンダーシャツは、シャツの袖の主たる色と同色のものを使用すること。また、チーム内で色味を統一すること。
 - ② アンダーショーツ及びタイツは、ショーツの主たる色と同色のもの、あるいは、ショーツの裾の部分の色と同色のものを使用すること。また、チーム内で色味を統一すること。
 - (5) レガース（すね当て）を固定するテーピング類については、ソックスと同色のものを使用すること。
 - (6) 背番号は、試合毎に提出するメンバー表の番号に一致させ、ショーツに番号を付けている場合は、その番号も一致させること。また、ユニフォームの上衣が縞の場合、台布等を使用し、背番号を分かりやすくし、かつ、台布が剥がれたりしないように取り付けること。
 - (7) ユニフォームに広告を掲示する場合は、公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づき承認された場合のみ認める。但し、ユニフォーム広告掲示により生じる会場等への広告掲示料等の経費は当該チームにて負担すること。また、ユニフォーム広告掲示を承認されたことが証明出来る内容のものを大会期間中は携行すること
6. 使用球 新品の試合球を各チーム2球用意すること。
7. 試合の成立 メンバーチェック時に11人揃っていること。
8. メンバーチェック メンバーチェックは、全試合で確認を行う。選手証の不携帯、もしくは選手証に写真を貼っていない等の不備がある場合は、該当選手の出場は認められない。但し、電子選手証（写真が登録されたもの）等で確認できる場合は出場を認める。
9. 選手の交代
- (1) 登録された最大9人の交代選手の内5人までの交代を認める。但し、再入場は出来ない。
 - ① 選手交代は、後半の交代回数を3回までとする（1回に複数人を交代することは可能）。
 - ② 前半、ハーフタイムの選手交代は、後半の交代回数に含まれない。
 - (2) メンバー表提出後、競技開始時間までの間にケガ等特別な理由により先発登録された選手が当該試合に出場することが出来ない場合は、先発登録された選手の変更を認める。なお、この場合の処置は選手交代に当たらない。また、当該選手はその競技に交代選手としてベンチに入ることを認める。
10. 競技の詳細
- (1) 用具のチェックは競技開始の5分前に行う。
 - (2) フィールド内公式練習
 - ① 1次ラウンド・2次ラウンド
第1試合においては競技開始の30分前から10分間とする。それ以降の試合においてはその前の試合のハーフタイムのみとする。
 - ② 決勝トーナメント
競技開始の30分前から10分間とする。
 - (3) 交代選手のウォーミングはボールを使わず、ベンチ後方にて行うこと。なお、ベンチ後方が狭い等、ウォーミングアップを行うのに十分なスペースがない場合は、本部の指示によること。
 - (4) 交代用紙は記入漏れが無いように、かつ、選手の氏名及び背番号、監督の署名を正確に行うこと。また、交代によりフィールドを退く選手は、近くのタッチラインより背番号を見せて速やかに退き、ベンチではユニフォームではない衣服及び決められたビブスを着用すること。
 - (5) 選手の装飾品については全て禁止とする。また、医療用の固定具などにおいて、審判が危険であると判断した場合は、それらを外さなければ競技に出場することは出来ない。なお、それらを外して競技

に出場する場合、該当選手が競技開始時間に間に合わなくても競技を開始する。

- (6) チームベンチは、プログラムの対戦表の左側に記載されているチームを、会場の本部からグラウンドに向かって左側のベンチとし、対戦表の右側に記載されているチームを、同様に右側のベンチとする。
- (7) 天候不良等の理由により、競技の続行の判断を行うのは主審とする。但し、再試合の実施及び日時については、競技役員及び長野県クラブユースサッカー連盟の理事会において決定する。
- (8) 大会期間中の負傷については、応急処置を含めて、全て各チームの責任において行うこと。なお、大会参加者は、健康保険証を携帯すること。
- (9) 競技中の戦術的な指示は、テクニカルエリア内からその都度ただ1人の役員が行うことが出来る。
- (10) 大会要項及び大会規定に記載されていない不合理な事象が発生した場合は、競技役員及び長野県クラブユースサッカー連盟の理事会において協議し、その後の処置を決定する。

11. 審判 この大会の審判は公益財団法人日本サッカー協会に登録した審判員にて行う。

- (1) 審判は、大会参加各チームの帯同審判制とする。
- (2) 各チームは、必ず2名の審判を登録する。
- (3) 主審は、3級以上とする。
- (4) 決勝トーナメントの審判は16歳以上の者とする。
- (5) 審判は、代表者ミーティングに参加し、その後審判団の打ち合わせを行う。また、競技開始の5分前にはメンバーチェック及び用具チェックを行い、試合終了後に反省会を行うこと。
- (6) 審判証のチェックは、本部役員が行うこと。
- (7) 審判は、競技終了後、審判報告書へ氏名、審判証Noを正確に記入すること。また、主審は、「試合結果記入用紙」の結果の確認と必要事項を記入し、主審署名欄へサインを行う。
- (8) 主審は、警告・退場があった場合は「重要事項報告書」へ必要事項を正確に記入すること。

12. その他

- ・効率的な試合運営を行うため、セミマルチボールを適用する。
- ・大会規定に記載されていない事項については、本大会競技委員長及び大会委員において協議の上、決定する。
- ・熱中症に対する対策としては、公益財団法人日本サッカー協会のガイドラインに従い、出来る限りの対策を講じる。
- ・各チームは、大会参加前にチームの選手の保護者及び応援者に対して、マナー遵守について指導をしておくこと。また、応援及び観戦は、原則としてベンチの反対側とする。
- ・全会場のグラウンド内は禁酒、禁煙とする。喫煙は指定された特定の場所にて行うこと。
- ・トイレ、水飲み場はきれいに大切に使用すること。
- ・ゴミの後始末は各チームの責任において行うこと。